

True Dataの企業理念（パーパス）

データと知恵で未来をつくる

ビッグデータは、人びとの行動の積み重ねです。
わたしたちは「データの真実」と「人間の知恵」で価値を生み、
より良い未来をつくります。



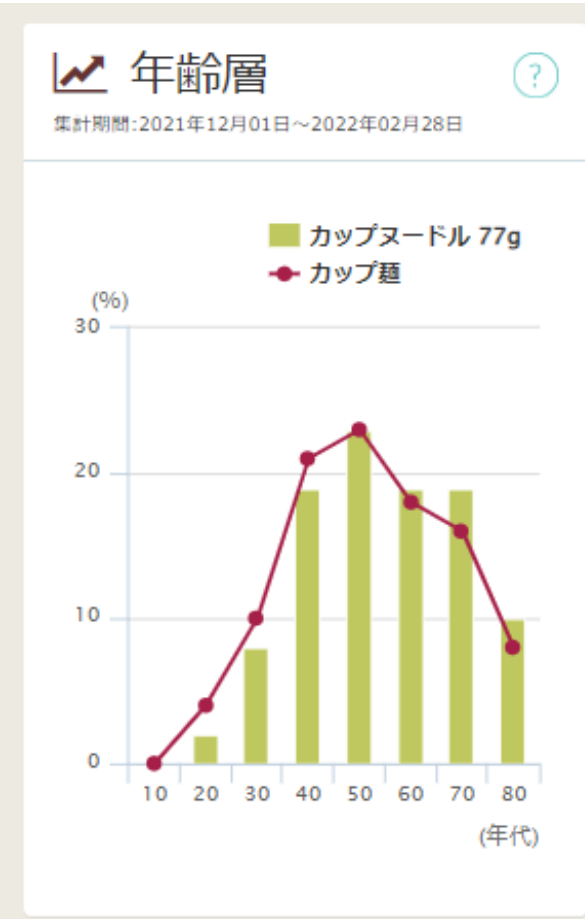
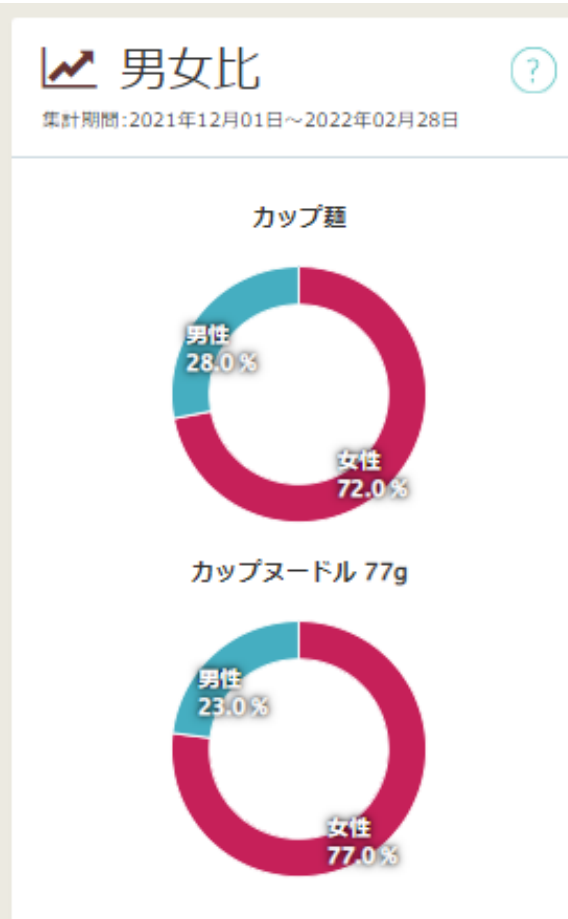
 True Data

精製 → 蓄積 → 管理 → 分析 → 活用

全国購買データによるID-POSデータ分析



<https://urecon.jp/>



全国購買データによるID-POSデータ分析

ランキング

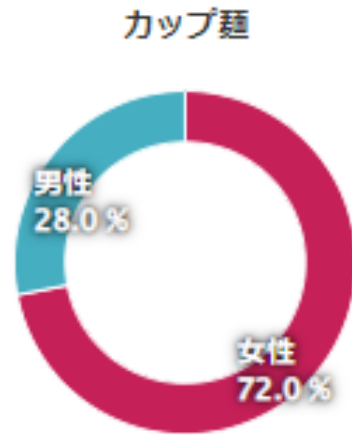
順位	商品名	平均価格(税抜)	市場シェア	リピート率	前回順位
 1位	カップヌードル 77g	129円	3.56%	22.91%	 1位
 2位	日清焼そばU.F.O. 128g	111円	3.35%	21.59%	 3位
 3位	マルちゃん 赤いきつねうどん 東 96g	99円	3.03%	23.2%	 2位
4位	マルちゃん ごつ盛り ソース焼 そば 171g	96円	2.97%	22.98%	 5位
5位	カップヌードル シーフードヌ ードル 75g	129円	2.76%	21.08%	 6位

もっと見る

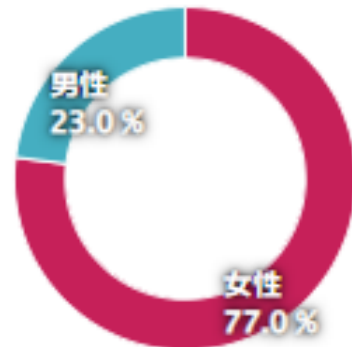
全国購買データによるID-POSデータ分析

男女比

集計期間:2021年12月01日~2022年02月28日

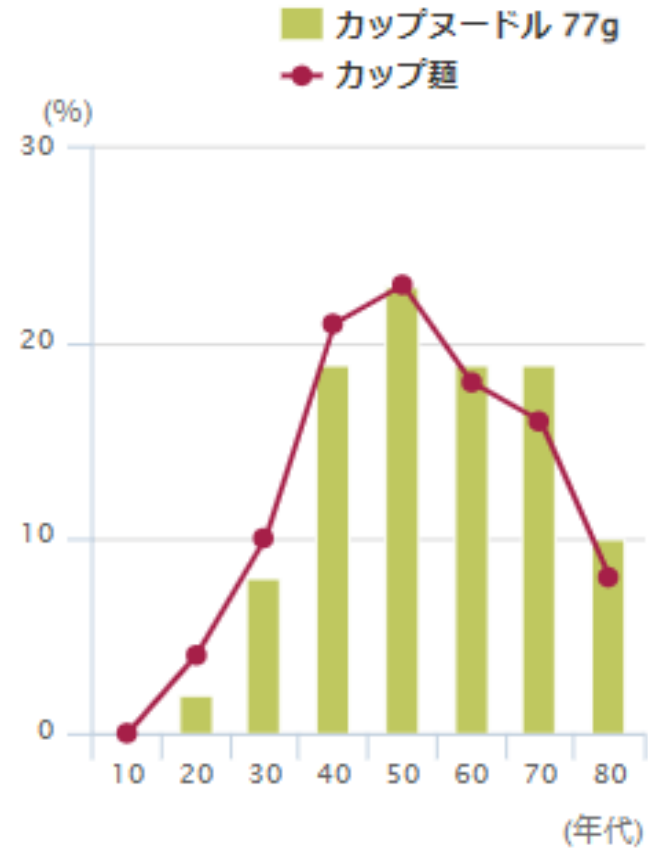


カップヌードル 77g



年齢層

集計期間:2021年12月01日~2022年02月28日



ID-POSデータ分析ツール（SaaS）

消費者購買データ分析SaaS



Eagle Eye

小売業データ分析SaaS



Shopping Scan

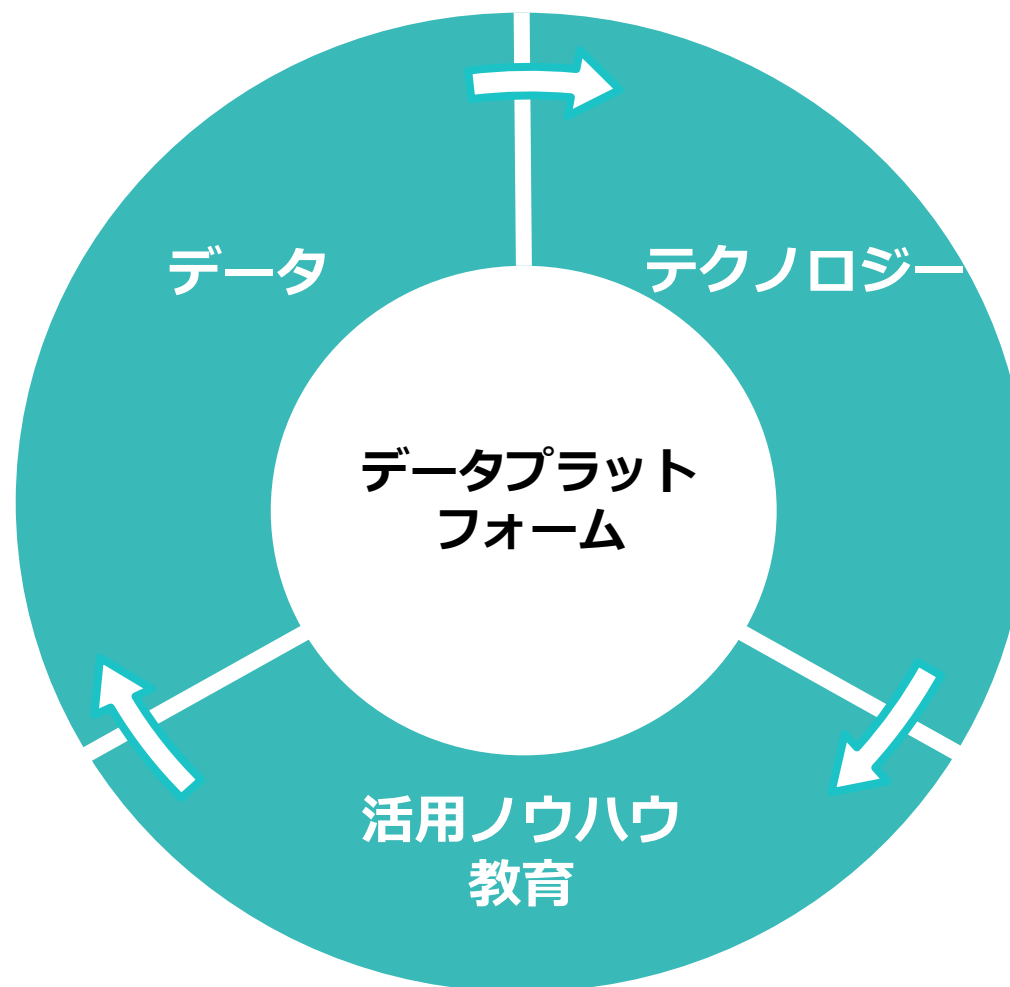
購買ビッグデータ

クリックするだけで
分析が実現

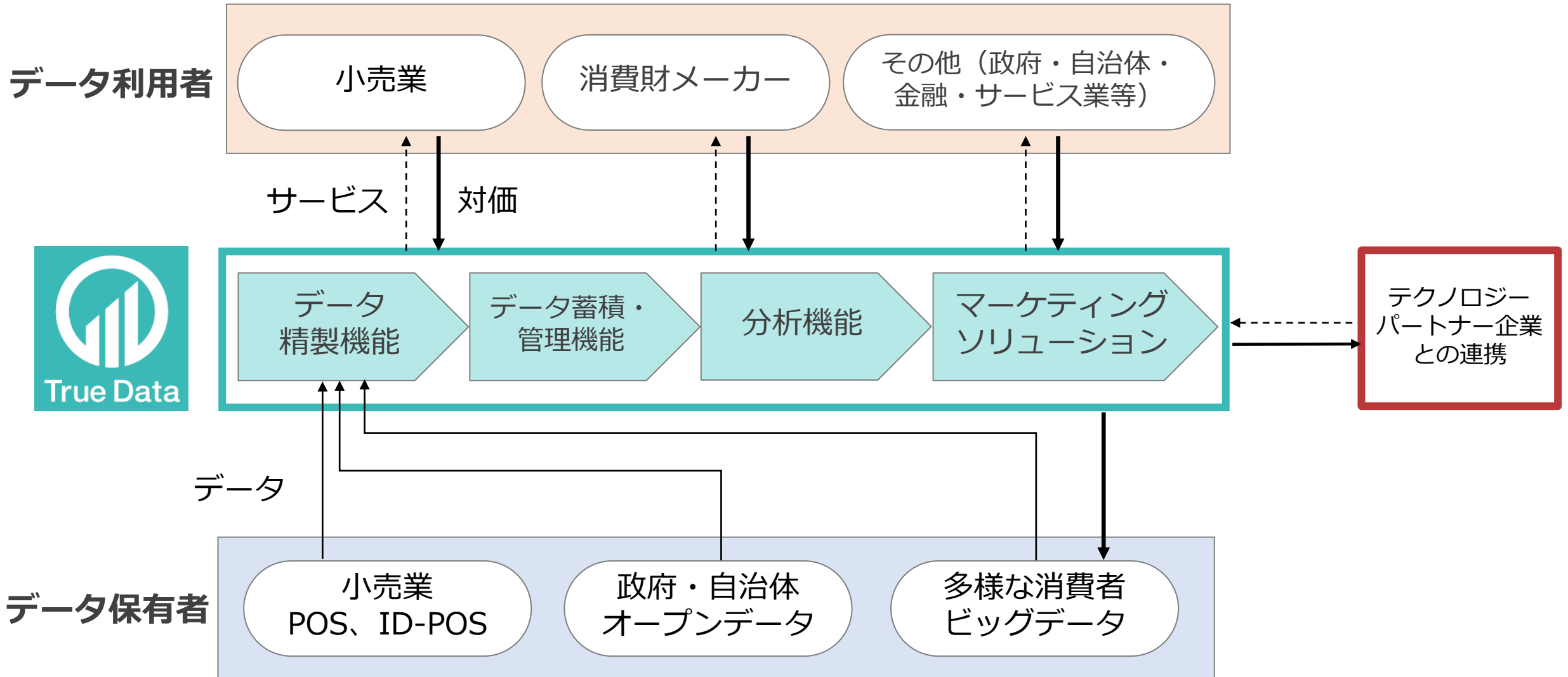
さまざまな
データ活用に対応

当社事業の特徴

データ活用に不可欠な「データ」「テクノロジー」「活用ノウハウ」をワンストップで提供

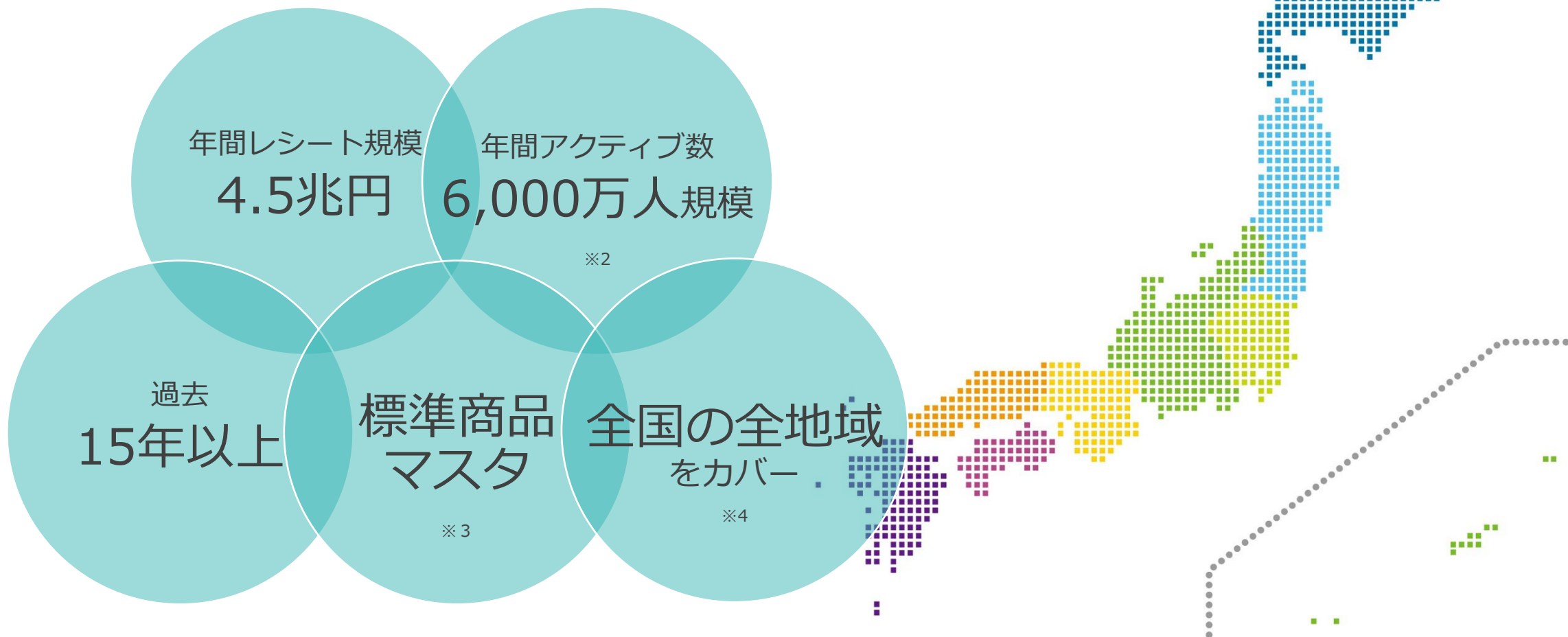


当社の事業構造



- > データの流れ
- - - - -> サービス提供の流れ
- > 支払の流れ

当社の消費者購買データ ※1



※1 2020年4月～2021年3月における購買データの合計

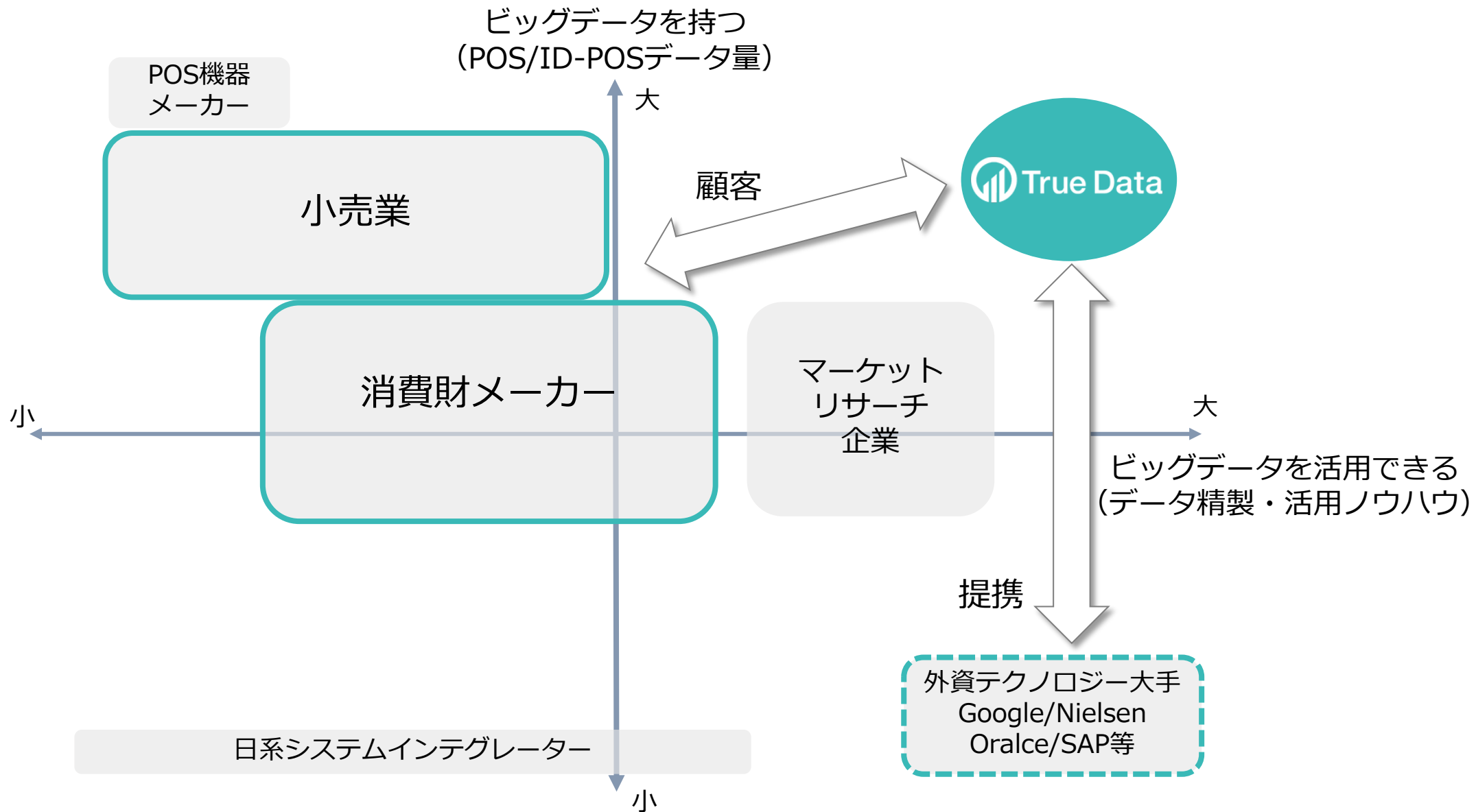
※2 2019年7月～2020年6月の1年間に購入実績のあるポイントカード会員数

※3 商品の名称や分類等のデータ。当社はマーケティング用の標準商品マスタをご用意し、幅広いデータ活用をご支援しています。

※4 ご提供するサービスによりエリア区分は異なります。

例えばイーグルアイ（ドラッグストア版）は、全国8エリア（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州）毎の分析を提供しています。

業界内プレイヤーと当社との関係 (顧客・提携・競合)



DXにより推進される消費者ビッグデータのかげ合わせ

消費者を多様なビッグデータで理解し、顧客へ最大価値を貢献していく時代

ID-POSデータは、消費者ビッグデータの結節点

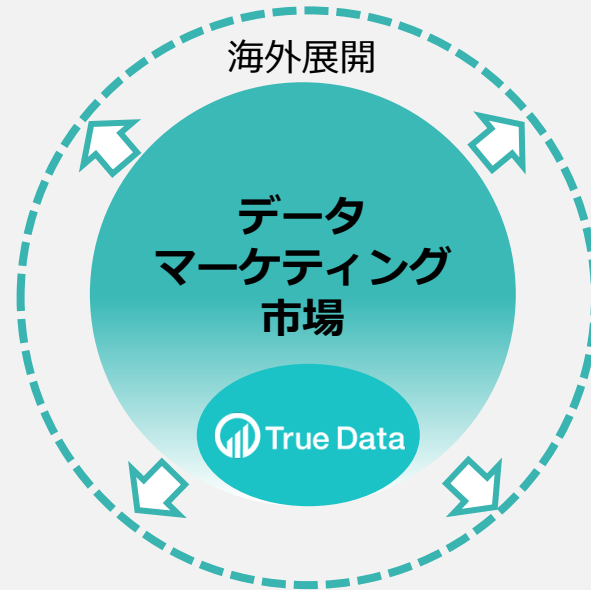


ターゲット市場

当社参入市場の進化の方向性（「DX支援」の拡大）

市場進化の方向性①
消費者ビッグデータ活用
による分析の高度化

市場進化の方向性②
データマーケティングと
広告・販促ビジネスの融合



第3四半期決算 ハイライト

- 売上（True Data事業）は10期連続増収と順調に進捗
- 主力サービスのストック型売上は順調に成長し、ストック型売上比率も更に向上
- 利益は3Qでは赤字も、通期黒字転換予想に変更なく、順調に進捗

第3四半期決算 損益計算書サマリー

(単位：百万円)

	21/3期 第3四半期(累計)		22/3期 第3四半期(累計)			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	前期比増減
売上高	861	100.0%	951	100.0%	+10.5%	+90
売上総利益	388	45.1%	455	47.8%	+17.3%	+67
営業利益	▲ 24	-2.8%	▲ 14	-1.5%	—	+10
経常利益	▲ 24	-2.8%	▲ 13	-1.4%	—	+11
当期純利益	▲ 27	-3.1%	▲ 18	-1.9%	—	+9

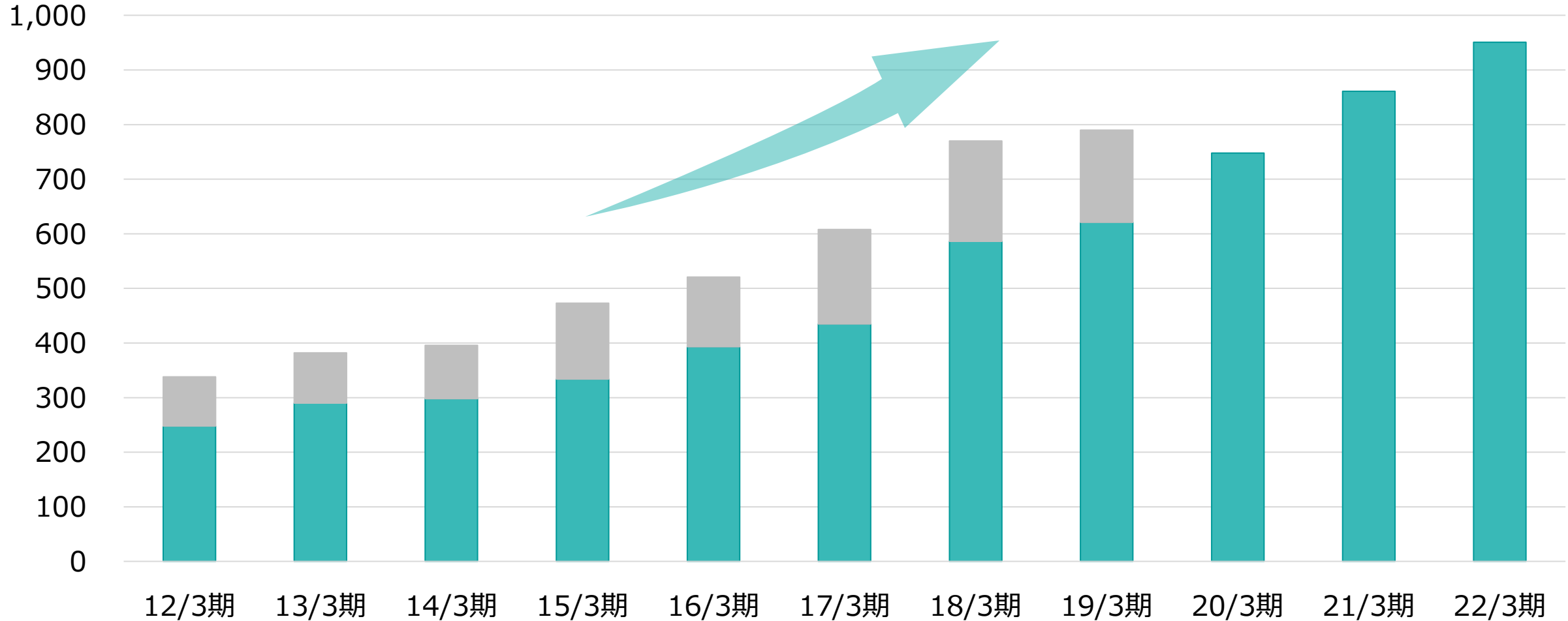
売上高推移

売上高推移
(第3四半期累計)

True Data事業の
10年間の年平均成長率
(CAGR) 14.4%

- CVS売上
- True Data事業(CVS以外の売上)

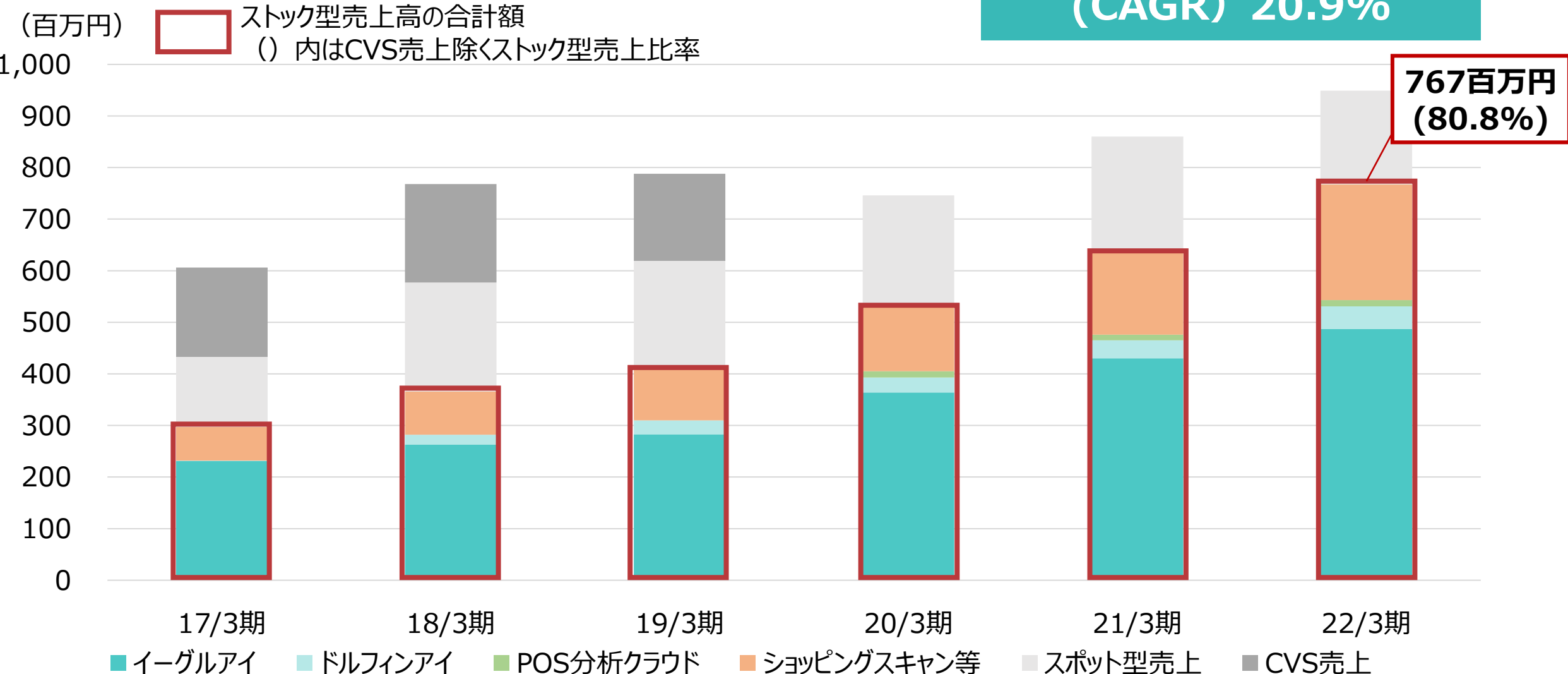
(百万円)



ストック型売上高推移

ストック型売上高推移
(第3四半期累計)

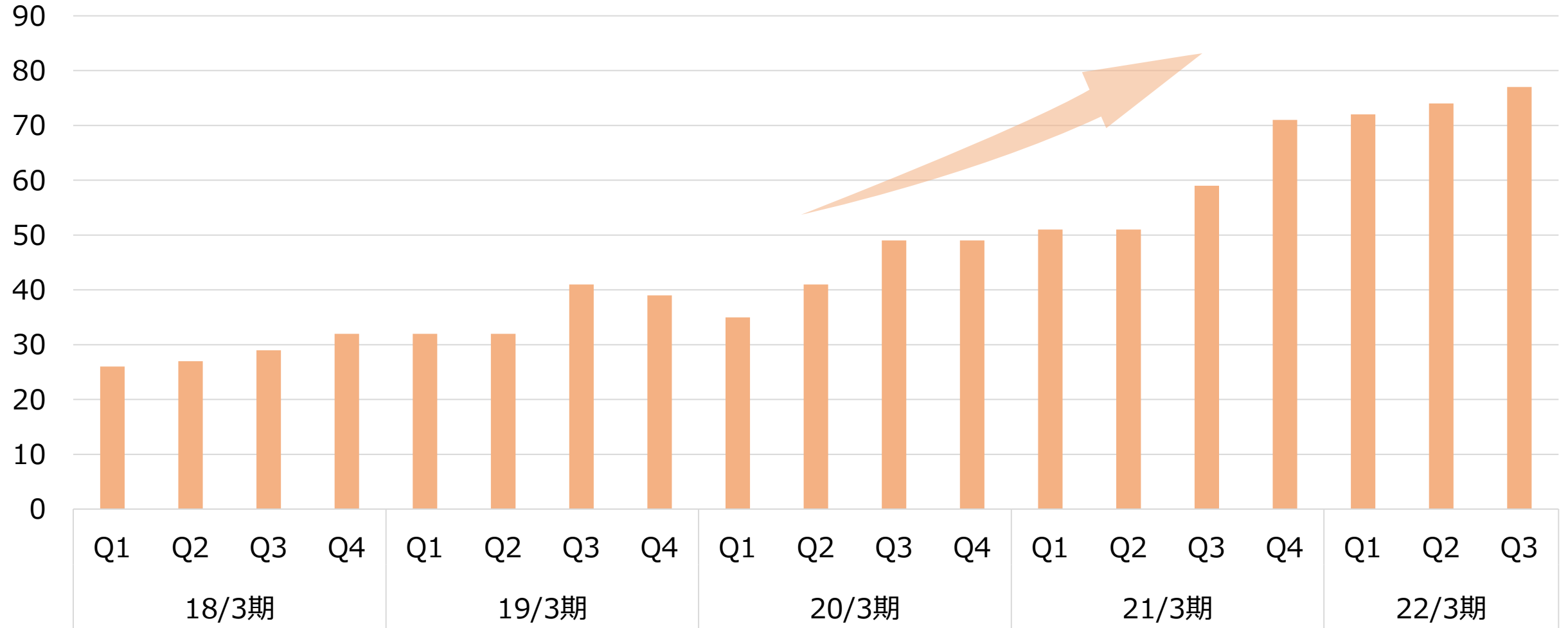
ストック型売上高の5年間の
年平均成長率
(CAGR) 20.9%



小売業向けストック型売上高推移

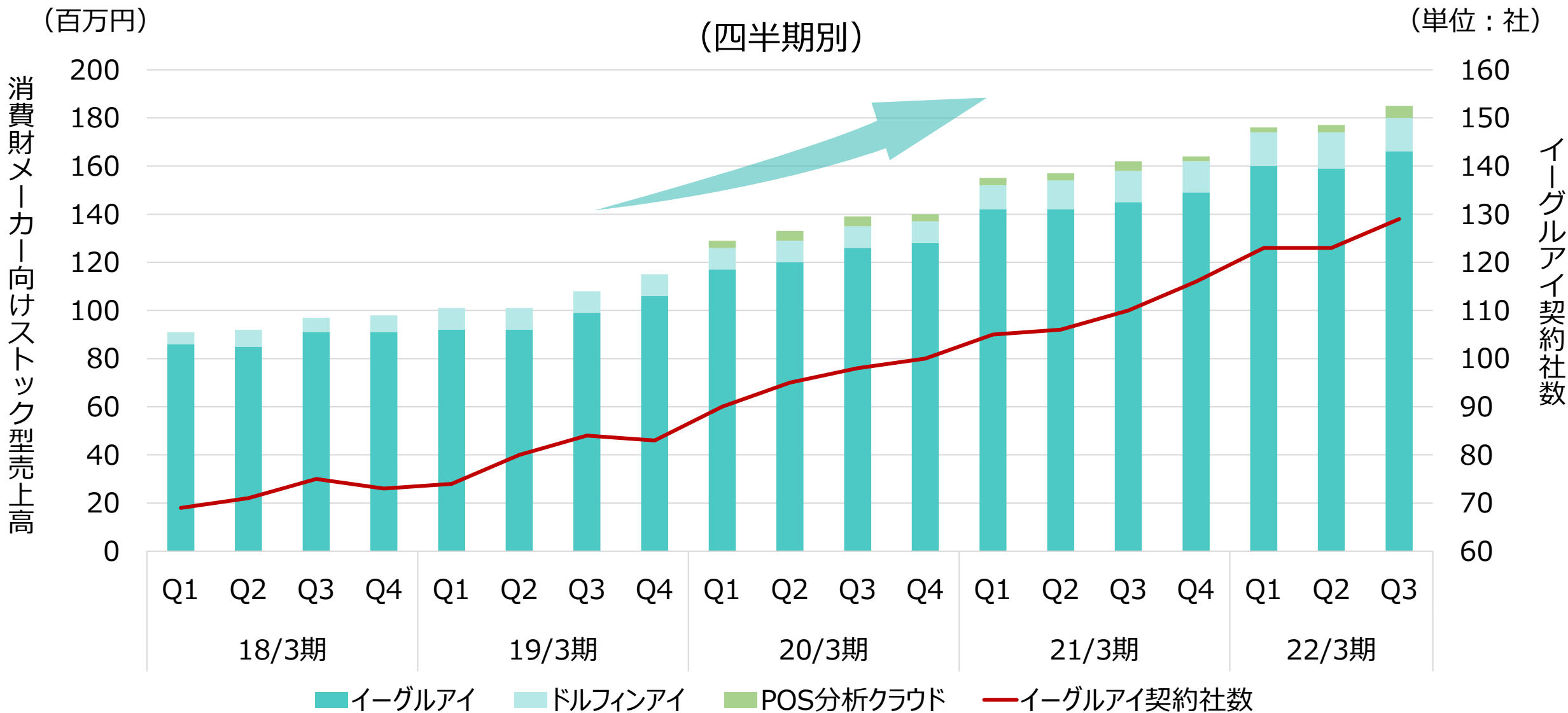
小売業向けストック売上高推移
(四半期別)

(百万円)



消費財メーカー向けストック型売上高推移

消費財メーカー向けストック型売上高推移・イーグルアイ契約社数推移



通期業績予想に対する進捗と見通し

(単位：百万円)

	22/3期		
	第3四半期累計	通期計画	進捗率
売上高	951	1,300	73.2%
売上総利益	455	645	70.5%
営業利益	▲ 14	23	—
経常利益	▲ 13	22	—
当期純利益	▲ 18	9	—

気仙沼市、「人間の安全保障」フォーラムと連携協定を締結

- SDGsが掲げる「誰一人取り残されない気仙沼」の実現を目指して、連携協力を推進するための協定を締結
- データ事業への女性就労支援などを実施
- 東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県気仙沼市において、地域との交流促進の視点に立ち連携



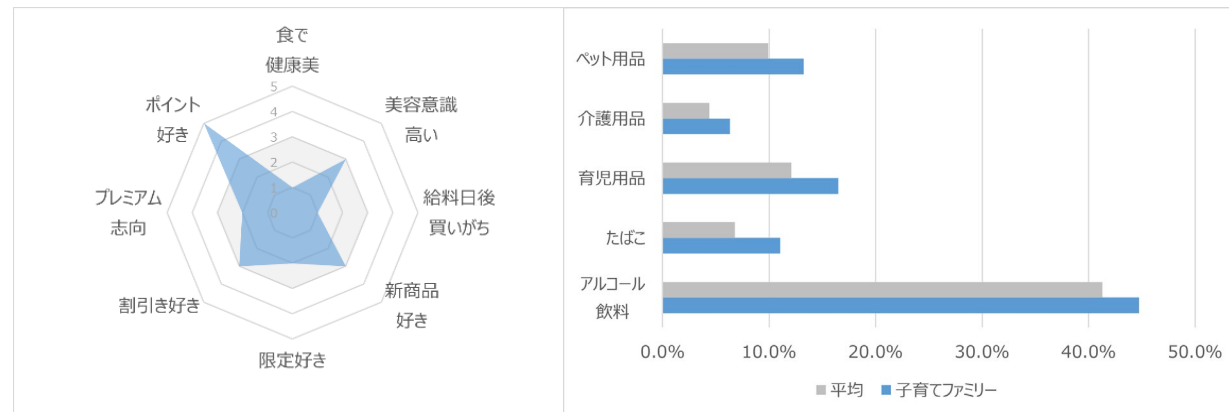
AIで需要予測&在庫を最適化するニールセンIQ社「SDR-IO」提供開始

- 欧米諸国の大手小売業で採用されているソリューションが日本国内初登場
- AIによる需要予測と在庫最適化で、小売業の業務効率化と収益性向上に貢献
- GMS、スーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンターなど、広範な品揃えを持つ小売業の在庫最適化にも活用可能



ナビタイムと共同で北海道のフェリー客調査を発表し観光DXを支援

- 当社の消費者ビッグデータと、ナビタイム社の走行実績データ、経路検索条件データを掛け合わせ観光客像を調査
- 新型コロナウイルスの影響で、大きな打撃を受けた観光産業をデータ活用で支援
- 今後、函館市のご協力のもと、本調査データを活用した観光DXの実証実験を予定



ベトナムFPTソフトウェアと業務提携、FPTグループのTRANDATAへ出資

- ベトナム最大級のICT企業である、FPTソフトウェアと戦略的な業務提携
- FPTソフトウェアグループのTRANDATA TECHNOLOGY ENGINEERING JOINT STOCK COMPANYと資本業務提携
- ベトナム国内の購買データを活用したマーケティングの領域において、日本とベトナムの両国におけるデータマーケティングビジネスの拡大を目指す

